

千代田界隈のレトロな風景



サクラ咲く

中央病院の交差点の古木。市役所通りでは毎年いちばん先に咲くと言われています。(3/18)

み
ど
り
の
風

新型コロナウイルスが中国で問題とされ始めたのは一月の末。感染は今でも続き、世界中に拡散しています。今後全世界で死者は数十万にもなるかという推計もあるそうです。予防ワクチンや治療薬の開発も良いニュースを聞くに至つておらず対処法は感染者との接触を防ぐことに重点が置かれ、渡航者や外国人の入国を制限したり、大規模(今は小規模も)イベントの中止、ヨーロッパでは外出禁止令が出された国もあります。日本でも国の政策により小中高学校の休校を急遽決定。それに伴い千代田でも児童クラブの受け入れ態勢をとったところです。私の身の回りでも外部のメンバーが集まる会議が中止されています。法人の役員会も中止とし、文書決済という方法をとりました。ちなみに昨年から準備してきた中学校の同窓会も中止に。世界中で人の移動が制限され人が集まることが極端に減っていることが連日テレビのニュースで映し出されています。スポーツ界へも影響が。春の高校野球の中止。大相撲は無観客で興行を断行。観客の姿、歓声が無いテレビ画面の静寂さは新発見はあるもののやはり異常事態を感じさせます。そして事態はオリンピックの開催の可否にまで及んできています。

コロナ一色になってしまっている三月。東日本大震災から九年。NHKスペシャルで二本の特集番組を見ました。三陸地方に伝わる童話「津波でんでんこ」。地震があつたら家族のことさえ気にせずてんでんばらばらに自分の命を守るために一人ですぐに避難し、一家全滅、共倒れを防ぐという教訓。これを実践し釜石の奇跡と云われた小学生たちの二十歳への成長。もう一本は津波で二十名の犠牲者を出した岩手県大槌町の消防隊員の生き残ったとの「負い目」との葛藤。「住民の命を守る使命のためにも先ず自分の命を守る」ことのメッセージも。あの大災害を記憶に残すためにメディアの粘り強い努力があることを感じます。

人・ひと日記

2020.4.1
-NO.259-

発行	社会福祉法人 悠朋会
相模原市中央区千代田	2-4-1
千代田デイサービスセンター	2-4-1
ヘルパーステーション千代田	042-751-0672
千代田介護支援センター	042-704-0261
児童クラブいちばん星	042-704-0281
158651	02861
158651	02861

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

吊るしひな



2月のクラフトの余暇活動で利用者の皆さんでひな祭りの吊るし雛を作成しました。

折り紙でお雛様とお内裏様を折り、菱餅や桜などの飾りと一緒に紐につけて、エレベータホールに飾りました。

色々な方が参加してくれたため、吊るし雛でいっぱいになり、みごたえもあり、とても好評でした。



私たちが管理者です

ヘルパーの管理者が3月より
変更となりました。
デイサービス、ケアマネ
ともどもどうぞよろしく
お願いいいたします。



千代田デイサービスセンター
管理者
情野 貴子



ヘルパーステーション千代田
介護保険管理者
久米 真由美



千代田介護支援センター
総合支援法管理者
神林 直樹



志村 章子

4月の予定

外出リハビリ	1日（水）～ 7日（火）
体重測定	6日（月）～12日（日）
書道	16日（木）
折り紙	16日（木）
誕生会	24日（金）～30日（木）
シナプソロジー	29日（水）



アクティブサンデー



今月のアクティブサンデーは矢部のマクドナルドにお昼ごはんハンバーガーのセットを買いに行きました。

1階の会議室をマック千代田店にして、買って来たハンバーガーやポテトをいただきました。

食べている途中にはドナルドもどきも現れたり、おまけでもらった宇宙の図鑑等の話題は盛り上がり、大盛況でした。

3月の市民交流スペース 飯泉稔 三角パーツ展



今月の市民交流スペースはデイサービス利用者の飯泉稔さんによる三角パーツで作った作品を展示しました。デイサービス利用時や自宅でも時間を見つけてはチラシなどを三角に折って作品を作っているとの事。組み立て方を駆使しながら、鶴や五輪の輪など色々な作品が出来上がっています。

はじめてのフィンランド オーロラ体験5日間の旅・・・

北原人美

八月の下旬に新聞の広告欄に載っていたこの旅を見つけ、「行きたい！」と思い立ち、即、旅行会社の窓口へ。

長野県生まれの私はある程度の寒さには慣っていますが、マイナス二〇度は想像を超える寒さの為、十一月防寒具の調達を始めました。一月の半ばには旅行準備も万端に出来、二月八日、いざ出発！

成田空港からフィンランドのヘルシンキ空港へ。

ヘルシンキは全く雪がなく、ちょっとがっかり。ヘルシンキで乗り換え再び飛行機で一時間三〇分北極圏内にあるイヴァロ空港へ。そこは一面の銀世界！気持ちも昂つてきました。そこからバスで三〇分、目的地サーリセルカに到着。寒くない！

ホテルの近くで一日目のオーロラ観測。小雪が降る天候の為、オーロラが現れる気配はなく、ホテル周辺の探検に出かけました。



雪深い幻想的な北欧の街並み

「この雪はパウダースノーでスキー場は空いているし、本人のスキー客もいました。日曜食が済んでから、バスでサム文化の博物館へ移動。その前にはイナリ湖という大きな湖があり、全面結氷スノーモービルのツアーも行われていました（時間の関係で参加はできず残念）。

この日の夕食はホテルのバイキングです。トナカイの肉の煮込みはシカ肉より少し癖がありますが、ベリーのソースを付けて食べます。

この日はオーロラ観測ツアーに参加しました。バスで北へ一時間ほど移動して湖の上で観測。二日目もありにくの天氣で肉眼より写真を撮る方が映り込む可能性があるのでシャッターを切りましたが、何も映り込んでいませんでした。二か所移動しても見られず残念。



パワフルなスノーモービル

孫にはがきを出すことにしました。サンタクロースはディズニーランドのように園内を歩いていない為、サンタと一緒に写真を撮り記念写真とプレゼントがいただけます。

三日日のオーロラ観察はホテルより徒歩二〇分ほどオーロラ小屋周辺での観測になりました。最後の観測になりますので気合を入れ、カメラをセットし準備万端でオーロラが現れるのを待ちました。月がぼんやりと出てるので期待して待ちます。

同じツアーの若い女性たちは待っている間に雪像づくりを楽しんでいました。

待てど待てどオーロラの出現気配はなく、夜中の一時近くになり天気も悪くなってきた為、断念しました。

このツアーで知り合った方は今回で三回目の挑戦とのことでした。見ることはなかなか難しいようです。こうなつたらオーロラを観るまで挑戦しようと思います。

二日目、朝の気温はマイナス二度。サーリセルカの街の散策。小さな街ですがホテルが沢山点在し、レストランやスーパーもあり、スーパーでお土産のお買い物をしました。その後近くのスキー場のゲストハウスにてグリルサーモンの昼食を頂きました。脂がのり大変美味しかったです。



サンタさんと

三日日の朝は少し寒く、マイナス五度。

朝食後、バスで三時間



イヴァロ空港のオーロラの看板の前にて

北原人美

千代田ディサービスセンター所属。生活相談員主任 兼介護職員。

勤務歴約二十年の頼れる大ベテラン。

時間があれば一人で旅行に行ってしまう行動派。